

チーム名	HUSSO	大学・学部	北陸大学 経済経営学部	北陸ステージ
プラン名称	最先端技術で若者に北陸の自然を感じてもらおう！！IoT×グランピング旅			
リーダー名	島田竜太郎	テーマ	北陸ならではの資源を活かした広域周遊型の「観光まちづくり」	本選出場 北陸広域観光推進協議会賞
指導教職員名	藤本雄紀			
メンバー名	岡野倫太郎、大屋和輝、小椋紘人			



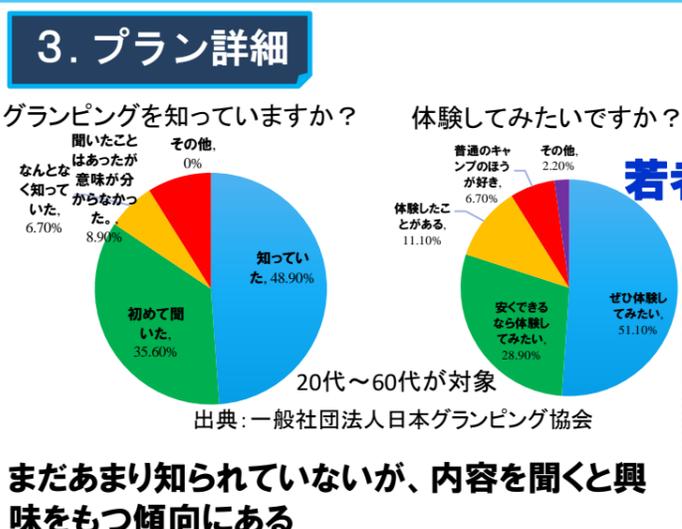
【課題解決へのアプローチ】
若年層を対象とした**豊かな自然**を体験できるスポットを創造し、**温泉施設も活性化**するプランを考案する

2. 解決策

旅館と提携したグランピング旅を提案

グランピングとは？

グラマラスとキャンプを掛け合わせた造語
 自然の中で手軽に豪華なキャンプをすることが出来るもので、近年若年層を中心に話題となっている



まだあまり知られていないが、内容を聞くと興味をもつ傾向にある

競合が少ないながらも未知なる可能性を秘めているグランピングこそ、**ブルーオーシャンである！！**

ヒアリング

実際にグランピングを運用している旅館

一里野高原ろあん

【メリット】
 ・若者が来る
 ・意外と手軽
 ・初期費用は少ない

【デメリット】
 ・維持費がかかる
 ・手入れが大変
 ・雨天時対策必須

3.1. 新規性

最先端技術で若者に北陸の自然を感じてもらおう！！IoT×グランピング旅

特徴1: 旅館に併設
 ・宿泊者数が少なくなった旅館にグランピングを併設して若者を呼び込む

特徴2: ICT技術を活用
 ・ICT技術を活用し、旅館がグランピングを運用していく際の課題を解決しつつ、利用者にとっても便利なグランピングを提供する

特徴3: 豊富な宿泊プラン
 ・途中で旅館に泊まりたくなくても大丈夫なプランや、完全手ぶら、食事を持ち込むなどのプランを展開

- IoTセンサでできること
1. テントの維持管理
ジャイロセンサで傾きを検知し、テントが壊れていないか監視
 2. テントの快適性向上
温湿度センサと連動した除湿、スポットクーラーなど
 3. 炭の温度管理
温度センサと連動し、炭の温度が下がるタイミングを通知
 4. 温泉の混雑状況の通知
圧力センサ・光センサをかごに設置し、衣類が入っている数によって温泉の混雑状況を通知
 5. 追加注文や要望を運営者へ連絡
アプリを通じた食事の追加注文や、運営者への連絡

ターゲット

若者や若い家族

多くの若者はSNSを利用
 →SNSで情報や口コミを拡散してくれる
 →投稿を促すように観光スポットを回ると食事が豪華になるなどの特典も付与する

旅行でいい体験ができると将来北陸に定着してくれる可能性を秘めている

3.2. 実現計画

IoT機器を操作するソフトウェアは我々で開発中
 →オープンソースで公開し自由に使える環境を整える

家具などはAmazonや楽天で購入できるため、初期投資40～50万程度でグランピングができる

利用客が低下している温泉旅館を中心に、北陸3県で30か所のグランピング環境を5年計画で構築

4. 効果

利用者	温泉旅館	行政・地域
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプの知識が詳しくなくてもできるので利用しやすい ・手軽にできる ・インスタ映えにもなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者、利用者の増加の促進 ・収入の向上 ・新たな利用者の獲得 ・イメージアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・グランピングでイメージアップ ・県全体の収入の向上 ・若者の定着率向上